

プロクター & ギャンブル (PG)

【セクター】 日用品製造

信買

【市場】 NYSE

信売

【企業概要】

世界最大の家庭用品・日用品メーカー。洗濯用洗剤「タイド」などを手掛けるファブリック&ホームケア部門、おむつの「パンパース」などを手がけるベビー・フェミニン・ファミリーケア部門、シャンプーの「パンテーン」や化粧品の「SK-II」などを手がけるビューティー部門、歯みがき粉などを手がけるヘルスケア部門、ひげそりの「ジレット」などを手がけるグルーミング部門を通じ事業を展開しています。米国内の売上高が全体の45%、米国以外の売上高が全体の55%となっています（2023年6月期）。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

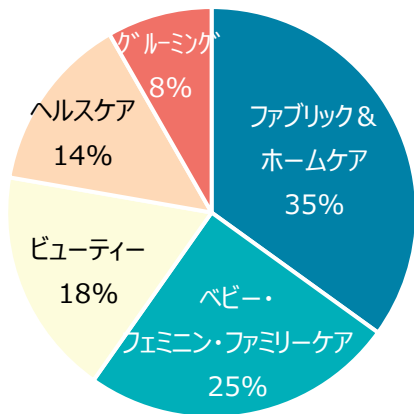
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
22.6期	80,187	14,875	5.86	3.52	19.0	32.4	40.0
23.6期	82,006	14,621	5.89	3.68	20.0	31.6	39.0
24.6期（予）	84,839	15,802	6.40	3.83	19.9	32.9	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

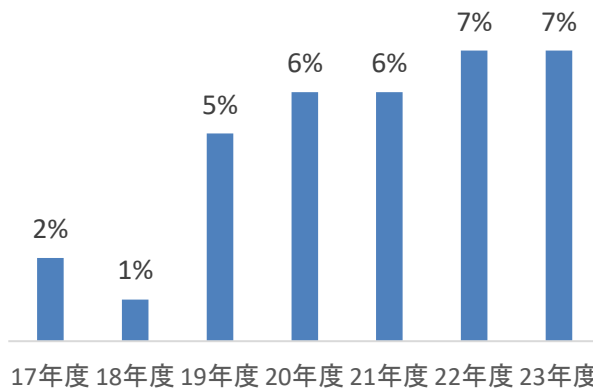
【主要指標】

部門別売上高構成比（2023年6月期）



（出所）会社資料よりSBI証券作成、本社部門を除く

売上のオーガニック成長率



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

ベビーケアやファブリックケア、ファミリーケア、ヘアケアなど多くの商品カテゴリで同社の商品は市場シェア1位から2位にランクインし、同社はその結果を自社製品の優位性があらわれたものであるとコメントしています。日本でもおむつの「パンパース」やシャンプーの「パンテーン」などの人気は非常に高く、そうした競争力のある商品を多数展開し、多角的な経営を行っていることは同社の強みの1つです。16年度から18年度にかけて事業ポートフォリオの選別を進めたことが奏功して、19年度からオーガニック売上成長率が拡大しています。2023年6月期時点で67年の連続増配を行い、いわゆる「配当貴族銘柄」の1つです。

【見通し・注目点】

10-12月期決算は売上のオーガニック成長が前年同期比4%増（要因別には価格が同4%増、数量が同1%減など）と市場予想の同4.6%増を下回ったものの、調整後EPSは同16%増で市場予想を8%上回りました。部門別にビューティ、ヘルスケア、ベビーの売上が予想を下回りました。利益増は原材料価格の低下や生産コストの削減が効いています。会社は「販売数量は中国市場の低迷が目立ったものの、下半期は回復を見込む」とコメントしました。通期ガイダンスはオーガニック売上成長を前年比4~5%増で維持、コアEPS成長率を前年比6~9%増から同8~9%にレンジ下限を引き上げています。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。